

株主の皆さまへ

— 第98期[中間期] —

株 主 通 信

2017年4月1日～2017年9月30日

LIFE with ASKA

先端の創薬を通じて、
人々の健康と明日の医療に貢献する



コーポレートキャラクター
あすかちゃん



あすか製薬株式会社

証券コード 4514

株主の皆さまへ

新薬「リフキシマ」市場への早期浸透 「カンデサルタンAGファミリー」「リ्यूプロレリン」売上伸長 5ヵ年中期経営計画「ASKA PLAN 2020」 2年目も大幅な増収増益により順調に推移



代表取締役社長

山口 隆

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第98期前半(2017年4月1日から2017年9月30日)の事業概況をご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年4月から取り組んでいる5ヵ年の中期経営計画「ASKA PLAN 2020」は、過去最高の売上高を計上した初年度に続き、当第2四半期も主力品の売上拡大等により増収増益を達成するなど順調に推移しております。引き続き、対処すべき課題に取り組み、本計画の数値目標『売上規模700億円、営業利益率10%、ROE8%』の達成を目指してまいります。

新薬事業では、昨年11月にリフキシマの販売を開始し市場への早期定着に向けた活動を進めた結果、発売から9ヵ月という短期間で全国の大学病院および肝疾患診療連携拠点病院のすべてで採用され、売上も順調に伸長しております。引き続き、本計画の柱であるリフキシマの育成に全社一丸となって取り組み、企業価値のさ

目次

株主の皆さまへ	1
事業の概況	3
トピックス	5
主要製品	7

中間連結財務諸表	8
会社概要	9
株式の概況	10

らなる向上に努めてまいります。

また、ジェネリック事業では、中核と位置づけるオーソライズド・ジェネリック「カンデサルタンAGファミリー」と、LH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤「リュープロレリン」が売上を伸ばし、今期の好業績に大きく寄与しました。オーソライズド・ジェネリック市場のさらなる拡大を図るとともに、ジェネリック事業のプレゼンス向上につなげていきたいと考えております。

研究開発については、重点領域に特化し、選択的プロゲステロン受容体調節剤CDB-2914(ウリプリスタル)

および遺伝子組換え卵巣刺激ホルモンAKP-501(rFSH製剤)の製造販売承認に向け開発を進めております。

引き続き売上拡大を目指す一方で、今後も原価低減や費用の削減に取り組み、収益体質の強化に努めてまいります。

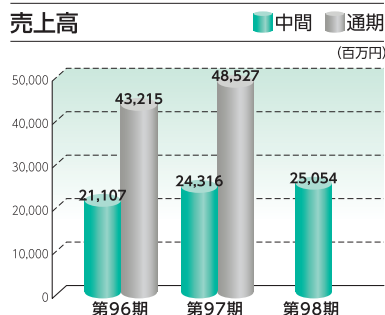
当社グループは、2020年の創立100周年に向けさらに結束を深め、一丸となって社業発展に邁進してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、これまでと変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

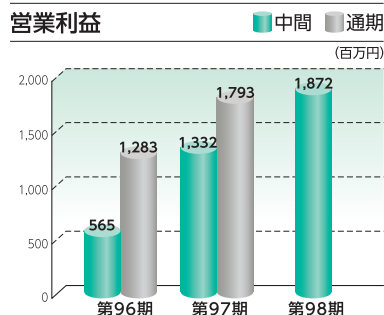
2017年11月

財務ハイライト (連結)

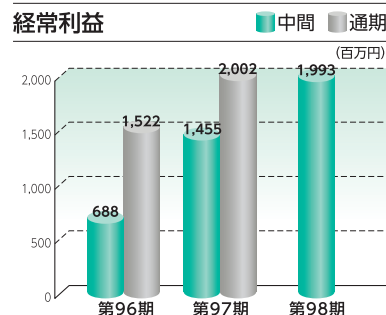
売上高



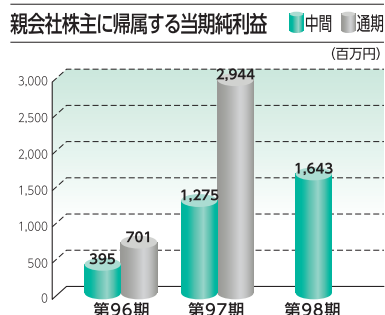
営業利益



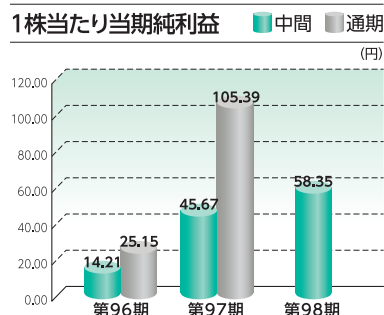
経常利益



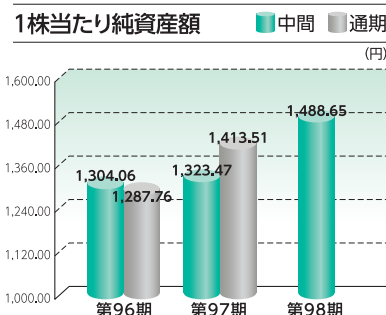
親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり当期純利益



1株当たり純資産額



(注)当中間期末の自己資本比率は62.4%です。

事業の概況

当中間連結会計期間における売上高は250億5千4百万円(前年同期比3.0%増)となりました。利益面につきましては、売上拡大に伴う売上総利益の増加に加えて、研究開発費の一部費用が第3四半期以降にずれ込む等、販売費及び一般管理費が減少したことにより、営業利益18億7千2百万円(前年同期比40.5%増)、経常利益19億9千3百万円(前年同期比36.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益16億4千3百万円(前年同期比28.8%増)といずれも大幅な増益となりました。

【セグメント別の業績】

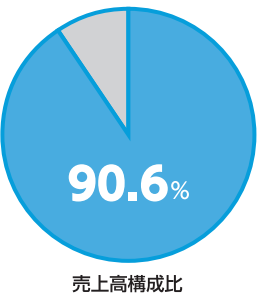
医薬品事業

主力品である甲状腺ホルモン剤「チラーゼン」の売上が伸び悩んだものの、オーソライズド・ジェネリック「カンデサルタン類」、LH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤「リュープロレリン」等の売上が増加したことに加え、昨年11月に発売した難吸収性リファマイシン系抗菌薬「リフキシマ」の売上伸長もあり、売上高は227億5百万円(前年同期比3.1%増)、セグメント利益は30億4千万円(前年同期比26.4%増)となりました。

その他

動物用医薬品、臨床検査、医療機器、食品等の各事業を展開しているその他事業の業績は、売上高は23億4千8百万円(前年同期比2.3%増)と前年同期とほぼ同水準となりましたが、販売費及び一般管理費が増加したことから、セグメント利益は9千6百万円(前年同期比21.7%減)となりました。

医薬品事業



当中間期

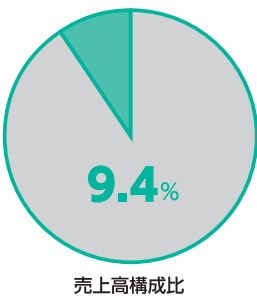
売上高

227億5百万円
前年同期比 **3.1%↑**

セグメント利益

30億4千万円
前年同期比 **26.4%↑**

その他



当中間期

売上高

23億4千8百万円
前年同期比 **2.3%↑**

セグメント利益

9千6百万円
前年同期比 **21.7%↓**

【研究開発の状況】

重点領域である内科・産婦人科・泌尿器科領域を中心とした創薬研究および臨床開発を推進するとともに導出入活動および事業提携戦略も積極的に展開しております。現在、選択的プロゲステロン受容体調節剤CDB-2914（ウリプリスタル）および遺伝子組換え卵胞刺激ホルモンAKP-501（rFSH製剤）の製造販売承認に向け開発を進めております。

なお、当中間連結会計期間における研究開発費総額は18億9千万円です。

開発パイプライン（2017年11月時点）

開発コード/領域・効能	フェーズⅠ	フェーズⅡ	フェーズⅢ	申請	承認
L-105（リファキシミン） 肝性脳症（小児）	（準備中）				

※その他の適応症への開発については今年度中の進展を目指す。

CDB-2914（ウリプリスタル） 子宮筋腫					
AKP-501（rFSH製剤） 不妊症					

AKP-015（T4注射剤） 粘液水腫性昏睡/重症甲状腺機能低下症	（準備中）				
---	-------	--	--	--	--

※「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において開発企業の募集が行われ、当社が開発することを決定した。

NPC-16 婦人科領域（月経困難症）					
-------------------------------	--	--	--	--	--

※ノーベルファーマ開発および製造販売

◆「平成29年度健やか親子21全国大会 日本家族計画協会会長表彰」受賞

2017年10月26日(木)に宮城県宮崎市で行われた「平成29年度健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会)」において、当社が「一般社団法人日本家族計画協会会長表彰」を受賞しました。

「健やか親子21」は、平成13年より始まった母子の健康水準を向上させるための様々な取り組みを推進する国民運動計画です。安心して子どもを産み、健やかに育てることの基礎となる少子化対策としての意義に加え、国民が健康で明るく元気に生活できる社会の実現を図るための国民の健康づくり運動(健康日本21)の一翼を担うものです。

年に1度行われる全国大会では、母子保健への功労者に対する表彰が行われており、この度、当社の「低用量経口避妊剤・緊急避妊剤の発売とその普及」に対する長年の取り組みが評価され、受賞することとなりました。

今後も、当社製品の適正使用のための情報活動を推進するとともに、産婦人科領域でのプレゼンスを高め、女性のQOL向上に貢献してまいります。



当社 丸尾専務(左) 日本家族計画協会 北村邦夫理事長(右)

◆ 大学病院および肝疾患診療連携拠点病院のすべてにリフキシマが採用

市場への早期定着とプレゼンス向上に向けた活動に全社一丸となって取り組んだ結果、発売からわずか9ヵ月で全国の81大学病院および肝疾患診療連携拠点病院のすべての施設にリフキシマが採用されました。今年12月には「新医薬品の14日間処方日数制限」が解除され、より長期の処方が可能となります。肝性脳症に苦しむ患者さまのQOLをさらに向上させるため、専門医一人ひとりに適正使用情報活動を推進し、専門施設との連携を強化することで、リフキシマの製品価値最大化に努めてまいります。

◆「あすかまつり2017」開催

2017年10月14日(土)に当社川崎研究所において「あすかまつり2017」を開催しました。1936年の開設以来、川崎研究所は医薬品の研究拠点として長きにわたり地域の皆さまに支えられてまいりました。当日は、地域の皆さまに感謝の気持ちを込めて様々なイベントを催しました。

スペシャルゲストとしてお招きした陸上競技女子ハンマー投アテネオリンピック代表の室伏由佳さんには、「可能性への挑戦～困難を乗り越えて～」と題して、女性疾患や腰痛などの多くの困難に向き合いながら常に挑戦し続けてこられたご自身の経験をご講演いただきました。

また、当社いわき工場(福島県いわき市)が東日本大震災で被災したことを受け、震災を風化させないために開催した「福島物産展」では、ご来場の多くの皆さまに福島県の特産品をご購入いただくことで復興支援に貢献しました。

時折冷たい雨が降るあいにくの天候にもかかわらず約900名の方にご来場いただき「あすかまつり2017」は盛況のうちに終了しました。



当社 山口取締役(左) 室伏由佳さん(右)

◆ 食道静脈瘤硬化療法剤 オルダミン注射用1g「胃静脈瘤の退縮」での国内追加適応取得

富士化学工業株式会社(以下「富士化学工業」)が製造販売し、当社が発売している食道静脈瘤硬化療法剤「オルダミン注射用1g」に関し、2017年6月、新たに「胃静脈瘤の退縮」の効能・効果を取得しました。

この適応症追加に際しては医師主導治験のもと、富士化学工業と当社が協力し、承認申請を行いました。今後も新たな治療の選択肢を提供することにより、多様な医療ニーズに対応してまいります。

主要製品

医療用医薬品

内科	リフキシマ	難吸収性抗菌剤
内科	カンデサルタン類	高血圧症治療剤
内科	リピディル	高脂血症治療剤
内科	アムロジピン	高血圧症治療剤
内科	チラーゼン	甲状腺ホルモン剤
産婦人科	ノルレボ	緊急避妊剤
産婦人科	ジエノゲスト	子宮内膜症治療剤
産婦人科 泌尿器科	リュープロレリン	前立腺癌・乳癌・ 子宮内膜症治療剤
泌尿器科	ビカルタミド	前立腺癌治療剤
泌尿器科	プロスタール	前立腺肥大症・癌治療剤



リフキシマ



カンデサルタン類



リピディル



チラーゼン



ノルレボ



ジエノゲスト



リュープロレリン



プロスタール

動物用医薬品

アイブロシンプラス	豚・鶏呼吸器疾患治療剤
レジプロン	プロスタグランジンF2 α 類縁体製剤



アイブロシンプラス



レジプロン

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	前年度末 2017年3月31日現在	当中間期末 2017年9月30日現在
資産の部		
流動資産	37,059	37,866
現金及び預金	14,761	13,110
受取手形及び売掛金	9,485	10,960
有価証券	500	300
その他	12,312	13,494
固定資産	29,067	29,399
有形固定資産	12,829	12,489
無形固定資産	3,491	3,311
投資その他の資産	12,746	13,598
投資有価証券	8,714	10,046
その他	4,031	3,551
資産合計	66,126	67,265
負債の部		
流動負債	16,253	15,417
固定負債	10,361	9,881
負債合計	26,615	25,298
純資産の部		
株主資本	36,965	38,504
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	851	851
利益剰余金	37,312	38,732
自己株式	△ 2,396	△ 2,277
その他の包括利益累計額	2,545	3,462
その他有価証券評価差額金	2,726	3,622
退職給付に係る調整累計額	△ 180	△ 160
純資産合計	39,511	41,966
負債純資産合計	66,126	67,265

中間連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前中間期 2016年4月1日から 2016年9月30日まで	当中間期 2017年4月1日から 2017年9月30日まで
売上高	24,316	25,054
売上原価	15,023	15,231
売上総利益	9,292	9,822
返品調整引当金繰入額	3	△ 0
差引売上総利益	9,288	9,822
販売費及び一般管理費	7,956	7,949
営業利益	1,332	1,872
営業外収益	264	204
営業外費用	141	83
経常利益	1,455	1,993
特別利益	—	—
特別損失	—	—
税金等調整前中間純利益	1,455	1,993
法人税等	180	350
中間純利益	1,275	1,643
親会社株主に帰属する中間純利益	1,275	1,643

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前中間期 2016年4月1日から 2016年9月30日まで	当中間期 2017年4月1日から 2017年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,891	△ 702
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 240	△ 378
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,791	△ 570
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	0
現金及び現金同等物の増減額	2,859	△ 1,651
現金及び現金同等物の期首残高	5,462	14,761
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,321	13,110

会社概要 (2017年9月30日 現在)

会社の概要		
社名	あすか製薬株式会社	
設立	ASKA Pharmaceutical Co.,Ltd.	
	1929年6月28日	
	(創立1920年6月16日)	
資本金	11億9,790万円	
主な事業内容	医薬品、動物用医薬品、医薬部外品、食品および医療機器等の製造・販売ならびに輸出入	
主な事業所	東京都港区芝浦二丁目5番1号	
本社	川崎研究所 (神奈川県川崎市)	
研究	いわき工場 (福島県いわき市)	
工場	札幌営業所、仙台営業所、	
営業	郡山営業所、東京営業所、	
	横浜営業所、さいたま営業所、	
	千葉営業所、宇都宮営業所、	
	新潟営業所、松本営業所、	
	金沢営業所、名古屋営業所、	
	静岡営業所、京都営業所、	
	大阪営業所、神戸営業所、	
	高松営業所、広島営業所、	
	福岡営業所、熊本営業所	
従業員数	876名 (連結) 798名 (単体)	
	(9月30日現在)	

子会社			
会社名	資本金	当社の議決権比率	主要な事業内容
	百万円	%	
(株)あすか製薬メディカル	30	100	検査事業、ヘルスケア事業、飼育関連業務
あすかアニマルヘルス(株)	100	100	動物用医薬品、飼料および飼料添加物等の製造、販売ならびに輸出入

(注) 当社は、2017年4月1日を効力発生日として、当社の連結子会社であったあすかActavis製薬株式会社を吸収合併しております。

役員 (2017年9月30日現在)		
役員	代表取締役社長	山口 隆
	全社統括	
	専務取締役	丸尾 篤嗣
	社長補佐	
	取締役 常務執行役員	加藤 和彦
	開発本部長	
	取締役 常務執行役員	福井 雄一郎
	営業統括	
	取締役 常務執行役員	山口 惣大
	創業研究担当	
	社外取締役	上田 栄治
	社外取締役	吉村 泰典
	社外取締役	山中 通三
	常勤監査役	齋藤 守信
	常勤監査役	小松 哲
	社外監査役	折木 榮一
	社外監査役	木村 高男

執行役員	執行役員	村上 誠
	管理本部長、新システム推進担当	
	執行役員	
	特命事項担当	蓮見 幸市
	(株)あすか製薬メディカル代表取締役社長)	
	執行役員	
	生産本部長	熊野 郁雄
	執行役員	
	営業本部長	寺本 裕国
	執行役員	
	信頼性保証本部長、監査、法務・コンプライアンス担当	仲田 崇夫
	執行役員	
	創業研究本部長	濱 寄 秀久
	執行役員	
	開発本部副本部長 兼 事業戦略部長	軍 司 国弘
	(マーケティング・ビジネスデベロップメント担当)	

株式の概況 (2017年9月30日 現在)

株式の状況

発行済株式の総数 30,563,199株

株主数 4,018名

大株主の状況 (上位10位)

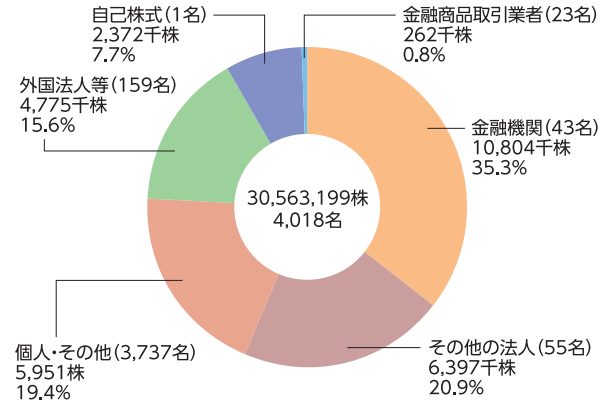
株 主 名	所有株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,312	8.2
武田薬品工業株式会社	2,204	7.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,622	5.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,100	3.9
山口 隆	914	3.2
あすか製薬従業員持株会	623	2.2
株式会社ヤマグチ	556	1.9
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	530	1.8
日本生命保険相互会社	522	1.8
トーア再保険株式会社	500	1.7

(注) 1. 当社は自己株式を2,372,185株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

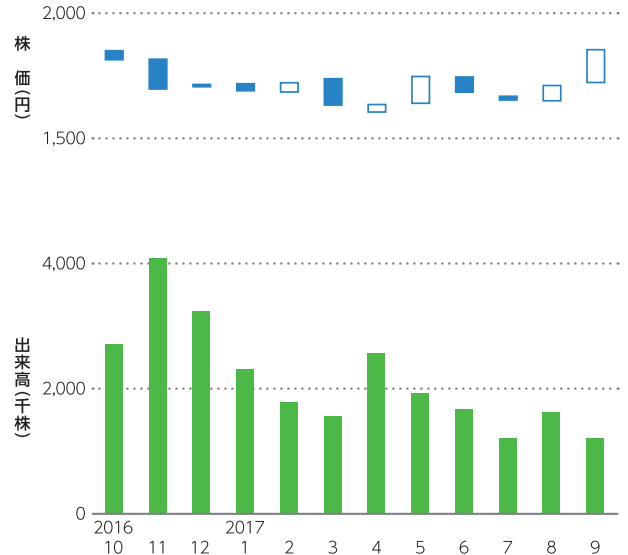
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株式の分布

所有者別



株価・売買高の推移



●株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話（通話料無料）0120-232-711
同 連 絡 先	
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所 市場第一部
公 告 の 方 法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.aska-pharma.co.jp/invest/index.html (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。)

●株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会等の内容	証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座*の場合
・単元未満株式の買増・買取請求 ・届出住所・姓名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	お取引の証券会社等にお問い合わせください。	三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ ・特別口座に関するお問い合わせ	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話（通話料無料）0120-232-711 http://www.tr.mufg.jp/daikou/	

特別口座* 株券電子化前に証券保管振替機構（ほふり）に預託していなかった株券の株主様の権利を保全するために、三菱UFJ信託銀行に開設した口座です。
特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

●ご案内：少額投資非課税口座（NISA口座）における配当等のお受取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当等を受取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。

NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。



本 社 〒108-8532 東京都港区芝浦二丁目5番1号
TEL.03 (5484) 8361(代) FAX.03 (5484) 8351
<http://www.aska-pharma.co.jp/>

株主の皆さまの声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に着してから約2ヶ月間です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4514

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセス出来ます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセス出来ます。



※本アンケートは、株式会社 a2media (エー・ツー・メディア) の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ
「e-株主リサーチ事務局」

TEL:03-5777-3900 (平日 10:00～17:30)
MAIL:info@e-kabunushi.com

